

志望動機・長所・特技・自己PR～ 私のプロフィール～

面接で慌てることのないよう、自分のプロフィールをまとめておきましょう。用紙の左右に同じことを書いてください。左側は、担任の先生が個人報告書・調査書を書くときの資料とするためと、後日実施予定の副校長先生による面接練習の時に参考とされるものです。右側は、自分の面接のための資料としてください。切り離さずにそのまま担任の先生に提出してください。点検後、右側だけを切り離して返却されます。

- * 名前は正しい文字で書けるようにしておきましょう。特に沢 ⇄ 澤、恵 ⇄ 惠、竜 ⇄ 龍、辺 ⇄ 邊 ⇄ 邇などの字体についても注意してください。公立高校では、住民登録通りの名前・字体で出願することが原則となっています。ふりがなは「ふりがな」と書かれていればひらがなで、「フリガナ」と書かれていればカタカナで書きます。続柄は生徒から見た続柄で「父」「母」となります。「実父」「お母さん」「パパ」「親子」等とは書きません。
- * 住所は「大阪市」から書き始め、丁目、番、号は省略せずに書きます。集合住宅の住宅名、棟番号は書きません。(例) 大阪市東淀川区豊里 1 丁目 2 番 3-456 号
- * 副校長先生の欄は「辰己欣広」(たつみよしひろ)、教頭先生は「富士浜真二」(ふじはましんじ)です。
- * 私の夢は、将来自分が就きたい仕事について、その理由と共に書きます。
- * 志望職種・志望校等は自分の進路(専併を含む)に関係のある項目のみ記入します。志望理由は、会社や学校の方針、その職種や科・コースにどのように興味を持ったか、自分に合っているかを具体的に書きます。
- * 特技は「英検3級」「空手初段」「ピアノ・ソナチネ」等となります。「コーラの一気飲み」「ものまねがうまい」等は特技にはなりません。
- * 自己PRは、ボランティア活動やクラブのキャプテンなど自慢できる日頃の活動などをまとめておきます。長所となる性格や作品展などで表彰されたこと、最近読んで感動した書籍の内容などもまとめておくと良いでしょう。
- * 時事問題もよく聞かれます。最近興味を持った時事問題と、それについての自分の考えをまとめておきましょう。
- * うそや付け焼き刃はすぐにバレます。日頃から自分をよく観察し、面接では正直に答えましょう。

※ 別紙の記入例を参考にしてください

私立高校と公立特別選抜校の志願先を決定 ～第2回 進路懇談会～

来週の12月14日(木)から第2回進路懇談会が始まります。この懇談会では、私立校、公立特別選抜校の志願先を決定します。また公立一般選抜校への見通しも検討します。家族とよく相談したうえで懇談に臨んでください。

この懇談で決定したことは、22日(金)に3年の先生方全員と校長先生、副校長先生、教頭先生、その他の主だった先生方で会議をもち、生徒全員一人ひとりの志願先についてその妥当性を検討します。その時「再検討した方がよい」という結果が出た場合は、担任の先生より連絡します。場合によっては再度懇談を実施することもあります。



ところで、皆さんには「夢」を忘れていませんか？前にも述べたとおり、高校等は自分の夢を実現するための通過点です。毎年、高校等の名前や偏差値に惑わされて、いつの間にか「夢」から外れた進路を選択してしまい、途中で退学して受験し直す人がいます。しっかりと将来を見据えて高校等を選んでください。とくに、府立工科高校を考えている人は注意してください。名前は同じ「工科」ですが、内容は高校によってかなり違います。「系」や「専科」を確認し、自分の希望する内容の学習ができる高校を選んでください。

大阪市統一テストの結果は進路に向けた勉強の励みに…

みなさんが10月5日に受けた大阪市統一テストの結果が返ってきてていると思います。たとえば、大阪市全体の中である科目の成績が上位8%以内に入ったら調査書の成績の5が保証されるということになります。勉強を頑張ってきて好成績が取れたら、それだけ努力をしたということが評価されたわけですから、ぜひ進路獲得への励みにしてほしいと思います。

ただ、以前、大阪市の中で「高い得点を取ったので成績が保証される」ということを「これ以上この科目は勉強しなくてよい」とか「宿題やノートはもうやらなくてよい」と誤って受け止めて、勉強する意欲が鈍ってしまった生徒がいたそうです。

統一テストは3年生の10月初めまでに勉強した内容から問題が出されます。そして入試の本番では10月以後に授業で勉強した内容も同じように出題されます。

たとえば、社会科では公民的分野のほとんどは10月から勉強します。入試の中で公民的分野は25%から30%程度出ます。10月以後に勉強する努力の手を緩めたら、肝心の入試の時に思うような成績をとれない、ということになりかねません。公立高校でも私立高校でも、合否は入試問題の得点が半分くらいかそれ以上の比率で決められる場合が多いです。

今回の進路懇談で、具体的に希望の進路先を決定し、その進路獲得のために、最後まで努力を続けるようにしてください。